



# 鳥取こども学園 学園だより

第 27 号

2010年6月1日

○発行  
鳥取市立川町5丁目417番地  
鳥取こども学園後援会  
電話 (0857) 22-4206  
http://www.tottorikodmogakuen.or.jp/  
○振込口座  
郵便振替 01490-9-9106  
題字 尾崎悌之助

お陰さまで、二〇〇九(平成二一)年度赤字を下さずに済みました。ご心配かけて申し訳ありませんでした。皆様のご支援に心よりお礼申し上げます。

「主の力が働いて、イエスは病気をいやしておられた。すると男たちが中風を患っている人を床に乗せて運んで来て、家の中に入れてイエスの前に置こうとした。しかし、群衆に阻まれて、運びこむ方法が見つからなかった。そこで、屋根の上って瓦を剥がし、人々の真中のイエスの前に、病人を床ごとつり降ろした。イエスはその人たちの信仰を見て、『人よ、あなたの罪はゆるされた』と言われた。」(ルカ五―十七―二十)

鳥取こども学園 園長・常務理事 藤野興一

創立の精神に立ち返り、制度に子どもを合わせるのではなく、子どもの最善の利益を求め続ける。

二〇〇六年、創立百周年を期に私たちは、「改めて学園創立の精神に立ち返り、制度に子どもを合わせるのではなく、あくまでも子どもの最善の利益を求め続けよう。」と、キリスト教社会事業の先駆性と献身性の復活を掲げ、国の施設整備基準を大幅に上回るホームを次々に建て、児童養護施設四十五名定員で七ホーム、情緒障害児短期治療施設三十名定員で四ホーム、乳児院十五名定員で三ホーム、独立した一時保護・ショートステイホーム、計十五ホーム体制を作り、各ホーム、養護三人、情短三五人、乳児五人の職員配置を実現した。

然るに、二〇〇八年度の第一児童棟改築工事や年度末ギリギリに完成した体育館増築工事の当初予算の大幅な増額による銀行借り入れ問題、更に人件費の赤字問題が加

わり、十二月ボーナス時に本部の財源も底をつき(スマイルやひだまり、支援センターなどに立て替えているものも含む)児童養護施設とスマイルのボーナスが払えないという事態に立ち至ったのである。

ありのままを訴えることとして学園便りに「寄付金・後援会費増額(会員拡大のお願い)」の緊急アピールを挟み込むこととした。かなりの反響があることは想定されたが、施設現場の実情を広く訴えるためにはより具体的な事実を明らかにするほうがよいと判断した。

十二月二十六日(土)の日本海新聞朝刊で報道され、当日の学園の電話が鳴りっぱなしの反響があった。全てが励ましの電話で寄付の仕方等の問い合わせであった。後援会の入会申込書等一式を用意し、送ることとした。土日にかけて直接寄付金をもってこられた方も多く、無名氏を希望される方も乗らずに手渡された方も何人もあった。

涙が出るほどうれしく心をこめてお礼を申し上げます。

学園の夕拝で子どもたちに説明し、保護者の方に心配ないと伝えてほしい、また君たちは学園が寄付をもらっているからと気にすることなく胸を張って堂々と生きてほしい。感謝の気持ちだけは忘れまい。と訴えた。

前年度千二百万円の赤字はお陰さまで、十二月二十六日以降の寄付金で穴埋めが出来ました。感謝です。

しかし、今年度も大幅な人件費赤字が予想され、ホームを一つ減らさざるを得ませんでした。

今年度もこの人件費赤字が膨らむようであればホームを減らすこともやむを得ないと考え、平成二十二年度の職員配置計画を練った。制度改革の面では一昨年七月に小規模ケア二カ所目が認められた(一カ所につき一人分五百万円の人件費加算)が、職業指導員一人分減額となり、三人の職員がオーバーした状態であった。この養護施設三人分の人件費とスマイル及び支援センターの人件費赤字が前年度の千二百万円の赤字となった。

今年度についても、3カ所目の小規模ケア加算が加わるものの、三年目の臨時職員を正職にせざるを得ないこと、近年の人事

院勧告削減の影響もあり、措置費の事務費部分が引き下げられていること等により、給与の見直しをしたとしても、このまま行けば、引き続き来年度も一千万円近くの赤字が予測されることから、十五ホームを十四ホームに減らさざるを得ないとの結論に至った。

私たちは、創立百周年の時にその創立の精神に立ち返ろうとして、十五ホーム体制を作ったのであり、日本の児童養護施設の現状打破への実践的提起であった。しかし、これ以上の累積赤字の拡大を続けるわけにいかないという現実的選択をせざるを得なかったのである。鳥取でも学園は公立施設ではなく民間施設であり、今後も民間キリスト教社会事業の先駆性・献身性を高く掲げて職員一丸となって歩みたいと思う。引き続きご支援賜りたい。

**法人本部**

① ここ数年の人事院勧告に合わせて法人の給与体系を全面的に改定。

平成十四年一部改定以来の改定で、国や県の給与水準が下がり続け、それに伴って措置費の事務費も下がり続けてきており、今回の人件費赤字の大きな要因でもあったからである。

② 平成二十二年四月一日、こころの発達クリニックがオープン。

今まで希望館の施設内診療所としてあった希望館診療所を「こころの発達クリニック」と名前も改め、外来保険診療を開始した。順調な滑り出しで四月一日からの一ヶ月間で延べ三百三十一人の患者数を数えた。

③ 措置費制度の堅持・底上げと生活(養育)単位の小規模化は制度改革の要。

「地方主権推進法」や「子ども子育てビジョン」等、社会的養護の今後のあり方を左右する国の動きに、施設入所児童の代弁者としてその実現に向けてソーシャルアクションの先頭に立ちたい。

④ 二〇一〇年度、鳥取みどり園は入江一校園長が退職され、山本恵子園長、栗本悦子副園長の新体制がスタートした。新体制の下で、鳥取みどり園乳児部改築計画を推進したい。

二〇〇九年度において、鳥取みどり園乳児部改築計画検討委員会を発足させ、先進保育園視察や福祉施設不造建築に詳しい東京の養育を語る会事務局長の野辺氏を招いて学習会をするなどしてきたことを引き継ぎ、二〇一〇年度において具体的計画を立て、早ければ二〇一一年度実現を目指したい。

**2009年度各施設の月別利用状況**

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
養護施設	未成年	1,459	1,459	1,459	1,459	1,459	1,459	1,459	1,4510	1,4511	1,4510	1,4410	1,4410	12,537
	児童	9	9	9	9	9	9	9	10	11	10	10	10	114
乳児院	0~1歳	11	11	12	12	12	14	14	14	15	14	15	15	160
	2歳以上	12	12	13	13	13	15	15	15	15	14	15	15	167
情短施設	入所	27	27	27	28	28	28	28	28	28	28	28	28	333
	通所	8	8	9	10	10	11	12	12	12	13	13	13	131
外来相談		実人数：1,214人 延人数：1,696人												
子ども家庭支援センター希望館		実相談件数(来所221、電話70、訪問143)：304件、延相談件数(来所514、電話279、訪問154)：947件												
鳥取フレンド		6	7	7	7	6	7	7	9	8	8	6	6	84
倉吉スマイル		6	6	6	6	6	6	6	5	6	6	6	5	70
保育所		163	165	167	171	175	174	176	175	177	178	178	178	2077
子育て支援センター	利用家庭数	232	237	386	353	253	186	278	235	252	225	270	234	3141
	一日平均	12	10	15	10	11	9	12	10	11	12	12	9	-

**本部会計決算書**

**収入**

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	1,358,000	1,358,170	170
寄付金収入	17,187,000	19,974,649	2,787,649
雑収入	834,000	1,005,985	171,985
繰入金収入	4,231,000	1,575,000	Δ 2,656,000
受取利息収入	3,000	2,680	Δ 320
前期末支払資金残高	3,580,000	519,892	Δ 3,060,108
合計	27,193,000	24,436,376	Δ 2,756,624

**支出**

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	949,000	952,820	3,820
事務費支出	3,101,000	2,967,458	Δ 133,542
元利償還金	6,982,000	6,980,824	Δ 1,176
繰入金支出	11,940,000	11,960,274	20,274
固定資産取得支出	4,221,000	1,575,000	Δ 2,646,000
合計	27,193,000	24,436,376	Δ 2,756,624

収入支出差引残金 ￥0

# 児童養護施設 鳥取こども学園

新年度がスタートしました。四月当初は新しい学校・新しい学年で少し緊張気味で登校していましたが、一ヶ月経ち、そろそろ学校生活にも慣れつつあります。ホームでは子ども達の「いつてきま〜す」「ただいま〜」の元気な声が聞こえてきます！

● 僕は今年度の目標は一つでも多くの資格が取れるよう積極的に試験に挑戦することです。資格があればあるほど進学や就職に便利だからです。まだ将来のことは何も決めてないけれど、それはこれからの三年間で決めていこうと思います。また僕は、この目標を達成させるために、二つの言葉をいつも頭に立てています。一つめは、『日進月歩』。日々、大幅に成長しなくても少しずつ確実に成長すれば目標は達成できると思います。

● 私が高校生になって頑張りたいことは部活です。四月からバスケットボール部のマネージャーになりました。高校になって初めてする部活なので、上手くなれるように練習を頑張りたいです。

(こまわりホーム) 高校一年 R・M

● 私が中学校で頑張りたいことは勉強と部活です。勉強は小学校とは違ってさらにレベルアップして難しくなってきたので頑張りたいと思います。吹奏楽部に私は入部をしましたが、最初はとても楽しそうだったけれど練習がだんだん大変になってきました。楽器を決めて、私はクラリネットになりました。一回だけ吹かせてもらいました。部活も三年間ずっと最後まで諦めずにやっていきたいです。

● おべんきようがんばりたいです。ほんとうにがんばりたいことはせんぶのべんきょうです。むずかしいこともあるとおもいますが、いっしょけんめいするので、たのしみにしていくでください。



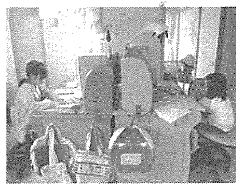
● 私が中学校で頑張りたいことは勉強と部活です。勉強は小学校とは違ってさらにレベルアップして難しくなってきたので頑張りたいと思います。吹奏楽部に私は入部をしましたが、最初はとても楽しそうだったけれど練習がだんだん大変になってきました。楽器を決めて、私はクラリネットになりました。一回だけ吹かせてもらいました。部活も三年間ずっと最後まで諦めずにやっていきたいです。

● 私が中学校で頑張りたいことは勉強と部活です。勉強は小学校とは違ってさらにレベルアップして難しくなってきたので頑張りたいと思います。吹奏楽部に私は入部をしましたが、最初はとても楽しそうだったけれど練習がだんだん大変になってきました。楽器を決めて、私はクラリネットになりました。一回だけ吹かせてもらいました。部活も三年間ずっと最後まで諦めずにやっていきたいです。

● 私が中学校で頑張りたいことは勉強と部活です。勉強は小学校とは違ってさらにレベルアップして難しくなってきたので頑張りたいと思います。吹奏楽部に私は入部をしましたが、最初はとても楽しそうだったけれど練習がだんだん大変になってきました。楽器を決めて、私はクラリネットになりました。一回だけ吹かせてもらいました。部活も三年間ずっと最後まで諦めずにやっていきたいです。

● 私が中学校で頑張りたいことは勉強と部活です。勉強は小学校とは違ってさらにレベルアップして難しくなってきたので頑張りたいと思います。吹奏楽部に私は入部をしましたが、最初はとても楽しそうだったけれど練習がだんだん大変になってきました。楽器を決めて、私はクラリネットになりました。一回だけ吹かせてもらいました。部活も三年間ずっと最後まで諦めずにやっていきたいです。

(こまわりホーム) 小学一年 S・I



## 新任職員のご紹介



樹下 加奈  
四月より、ひまわりホームで子ども達、職員の方と一緒に過ごしていきます。私は社会人として

も一年目で日々分からないこともたくさんありますが、先生方をはじめ、子ども達にも助けてもらっている日々です。いろいろ悩むこともあると思いますが、楽しい日々を一緒に過ごすことが出来ればと思っていますので、よろしく願います。



高木 忍  
四月より学園でお世話になることになりました。まだ慣れないことばかりですが、先生方や子ども達から多くのことを学びつつ、色々なことを吸収して、私自身も成長していきたいと思っています。よろしく願います。

● 私が中学校で頑張りたいことは勉強と部活です。勉強は小学校とは違ってさらにレベルアップして難しくなってきたので頑張りたいと思います。吹奏楽部に私は入部をしましたが、最初はとても楽しそうだったけれど練習がだんだん大変になってきました。楽器を決めて、私はクラリネットになりました。一回だけ吹かせてもらいました。部活も三年間ずっと最後まで諦めずにやっていきたいです。

### 児童養護施設「鳥取こども学園」施設会計決算書

収 入 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	153,770,000	153,980,623	210,623
補助金収入	24,109,000	24,112,978	3,978
寄付金収入	609,000	727,000	118,000
雑 収 入	466,000	591,569	125,569
受取利息収入	5,000	4,500	△ 500
繰入金収入	7,000,000	7,000,000	0
積立預金取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
前期末支払資金残高	1,632,000	664,434	△ 967,566
合 計	190,591,000	190,081,104	△ 509,896

支 出 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	132,696,000	132,341,667	△ 354,333
事務費支出	8,102,000	8,232,189	130,189
事業費支出	41,650,000	41,438,193	△ 211,802
固定資産取得支出	8,143,000	8,069,050	△ 73,950
合 計	190,591,000	190,081,104	△ 509,896

収入支出差引残金 ￥0

## 鳥取こども学園乳児部

### 共に歩む乳児部

院長 田 中 佳代子

『石の上にも三年』という格言のことく、四年目を迎えて乳児院としての機能が確立してきたと自負し、職員の間で感謝する毎日です。

乳児院は、子ども達の養育支援はもちろんのこと、保護者支援は不可欠で、支援の如何によつては、『子ども達の人生の安定した基盤作りの保障』を揺るがしてしまうという非常に重要な役割を担っていると思っております。我が子を愛おしむ親としての愛情をこつこつと、その愛情を子ども達に注ぎ続けていくことができるのか。今世、子育てをするには非常に厳しい社会情勢の中で、多くの親御さんの苦悩に出会います。『乳児院と出会えて良かった』という保護者の声に共感を感じ、乳児院の存在を価値あるものと確認します。

乳児院と出会ったことが（子育て）応援団を知ったことが、親御さんの精神安定剤となり、一人でも多くの子ども達が親の元で暮らせる事を願って止みません。五月現在、鳥取こども学園が満員で

置変更できない事情もあり、十四名でのスタートですが、子ども達や保護者に育ててもらいながら今後も研鑽を職員と一緒に重ねていきたいと思っております。

### 子ども達の笑顔に支えられて

かりんホーム保育士 中 村 ちあき

乳児部に勤務して早三年半。早番、夜勤などの勤務が続く中で、職員の皆さんや子ども達の笑顔に支えられ、試行錯誤で何とか今日までやってこれました。これまで子ども達への対応が本当に良かったのか悩むことも多いですが、ここには子どもや職員の笑顔が溢れています。子ども達の笑顔は、私を元気にしてくれる魔法です。そして、子ども達の成長の一瞬一瞬を共有できることに喜びを感じています。今後も、子ども達の笑顔に支えられて、共に成長していきたいと思っております。



### 今、私が思っていること

くるみホーム看護師 生 駒 美代子

乳児部開設時に入職してから現在に至っています。仕事について悩むこともしばしばあります。乳児が心身ともに健康で生活できる環境作りの為に十分な看護的配慮や衛生、安全を確保しなくてはならないのですが、自分はその為にどれだけ努力しているだろうか…という思いがあります。乳児部の看護師は医療看護の専門性と共に保育専門性も要求されます。実際ホームの中で子ども達と関わりながら仕事をしていますが、自分だけの力では決してどうなるものではなく、チームの力にぜひ助けられています。

施設長はじめ、看護師、保育士、家庭支援専門相談員、心理士等それぞれの職種専門性を生かし、連携を取り、一対化となって養育を行っていく事が理想です。チームの一員として私自身の力など微々たるもので、まだまだ勉強しなくてはならない事が山積みです。これからいろいろなところへ迷惑をおかけしたり、お世話になりますが、よろしく願いいたします。



## 乳児院「鳥取こども学園乳児部」施設会計決算書

収 入 (単位：円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	126,722,000	127,211,674	489,674
補助金収入	13,999,000	13,999,000	0
寄付金収入	1,434,000	1,434,000	0
雑 収 入	224,000	205,748	△ 18,252
受取利息収入	7,000	6,848	△ 152
合 計	142,386,000	142,857,270	471,270

支 出 (単位：円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	109,262,000	108,946,030	△ 315,970
事務費支出	6,698,000	6,487,645	△ 210,355
事業費支出	12,649,000	12,244,984	△ 404,016
繰入金支出	2,656,000	0	△ 2,656,000
固定資産取得支出	8,155,000	10,800,730	2,645,730
積立預金積立支出	0	3,000,000	3,000,000
合 計	139,420,000	141,479,389	2,059,389

収入支出差引残金の¥1,377,881-は次年度繰越

情短施設

鳥取子ども学園希望館

希望館は五月一日現在、二十三名の子どもが入所し、八名の子どもが通所して生活をしています。

発足して三年目に入った小学生会について記載します。

小学生会

主任セラピスト 河津 史子

小学生会は平成二十年度に発足し、三年目に入りました。小学生会では、希望館で生活する小学生を主役として自分たちの生活を安全・安心で快適なものとするために集まり、一緒に遊んだり、おしゃべりしたり、考えたりすることを目的に掲げました。

これまで、お菓子作りや登山、海水浴、魚釣り、スキー遠足、卒業・修了を祝う会など、月一回、主に土曜日の半日を使って開いています。

最初の頃は、小学生たちも何のために集まるのか分からず、職員の準備したイベントに参加する形だったのですが、何回か回を重ねる内に子供自身が主体的に意見やアイデアを出し楽しむことで、『自分たちの会だ!』という意識が芽生えてきたように感じます。

特に、希望

館の子どもは縦割り小舎ホームで生活していることもあって、それぞれ生活の場では年上のお兄さんお姉さんにしてもらったり、叱られたり受け身であることが多いためです。そんな小学生の子どもたちに、小学生会は能動・自発的活動の機会を与えているようです。



久松山頂上から鳥取市を一望!

伸び伸びしすぎて時には羽目を外してしまうこともあります。まだまだ遊びが中心ですが、今後ものんびりした楽しい雰囲気は残しつつ、何かに挑戦したり、一緒に考えたりもできる会にしていきたいと思っています。

新任職員の自己紹介

精神科医師 池 成 孝 昭



平成二十二年四月より、こども学園希望館勤務となりました。病院とは異なる環境で、医師としての経験を活かせることができると考えています。初めてのこ

ばかりなので、皆さんいろいろ教えてください。お願いします。

セラピスト 新 田 理 恵



毎日子どもたちと楽しく、和気あいあいと学校生活を共にしています。これから、さまざまな行事などを通して、より多くの学園の子どもたちと関わりが持てたらいいなと思います。よろしくお願ひします。

栄養士 増 岡 達 子



今年度から栄養士としてお世話になります。増岡達子です。慣れないことばかりで落ち着きがない私です。皆さんには迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

調理員 橋 本 美 佳



調理員の橋本美佳です。皆さんにおいしい食事を提供できるように、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

情短施設「鳥取子ども学園希望館」施設会計決算書

収 入 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	162,246,000	162,494,187	248,187
補助金収入	20,076,000	20,124,814	48,814
寄付金収入	342,000	342,000	0
雑 収 入	34,000	34,296	296
受取利息収入	9,000	9,323	323
積立預金取崩収入	1,190,000	0	Δ 1,190,000
前期末支払資金残高	3,831,000	2,396,504	Δ 1,434,496
合 計	187,728,000	185,401,124	Δ 2,326,876

支 出 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	140,230,000	138,264,032	Δ 1,965,968
事務費支出	11,952,000	12,156,919	204,919
事業費支出	27,709,000	27,143,273	Δ 565,727
固定資産取得支出	7,837,000	7,836,900	Δ 100
合 計	187,728,000	185,401,124	Δ 2,326,876

収入支出差引残金 ￥0

保育所

鳥取みどり園

新年度を迎えて

園長 山本恵子

今年度当園は、創立六十周年という節目の年を迎え、世代交代による新体制となり、園長に私こと山本恵子が就任いたしました。まだまだ未熟者ですが、歴史ある園を守り、お預かりする子どもたちのため、保護者様のために誠心誠意つくし頑張りたいと思いますので、宜しくお願ひ申し上げます。

四月に新入園児二十八名を迎え、五月にも入退所があり、現在は総勢一六六名のにぎやかなスタートとなりました。職員にも異動があり、五名が新しく仲間入りしました。

四月当初は保護者の後を追って泣いていた子どもたちも、好きな玩具を見つけて遊んだり、戸外に出て砂遊びやすべり台に乗り、楽しそうな会話や笑顔が見られるこの頃となりました。

一日の大半を園で過ごす子どもたち。家庭的な雰囲気大切に、「居心地の良い場」「安心して遊べる場」になるよう安全面には細心の注意を払いながら子どもたちとしっかり関わり、子どもたちの心に寄り添いながら育ち合っています。又、地域に開かれた保育園として地域に愛され、信頼されるように職員みんなで一人ひとりの子どもをもっと認め、愛していきたい。そして園生活の中で友だちを大切に「友だちっていいな」「保育園って楽しいな」と感じられるような仲間づくりを目指していきたいと思ひます。

新任職員の自己紹介

栄養士 寺尾結希



4月からみどり園の栄養士として働いております。寺尾結希と申します。毎日厨房に入り調理を

したり、献立の作成では、私にとってはじめての分野の離乳食の献立の作成など、新しい環境と仕事内容に、奮闘していますが、子どもたちに美味しく、楽しく食事を食べてもらえるように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

わくわく子育て支援センター

大橋里沙



初めまして。わくわく子育て支援センターのサポートセンターの担当と申します。大橋里沙と申します。

なり、初めての経験という事で不安もありましたが、今では利用者の方と楽しい時間を過ごす事ができるようになり、まだまだ未熟ですが充実した日々を送っております。

毎日が利用者の方とどのような接し方をすれば良いのか試行錯誤の日々ですが、良い信頼関係を作れるよう頑張っていきたいです。

さくら組 福山千春



4月からみどり園のさくら組担当になりました。何もかもが初めてで分からない事もありますが一生懸命頑張りたいと思ひます。まだまだ

余裕がない自分の姿に毎日反省する事ばかりです。

子どもたちの成長と共に自分もしっかり自覚が持てるよう笑顔忘れずにこれから頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

ちゅうりっぷ組

加藤麻衣



4月から鳥取みどり園で働かせてもらっています。加藤麻衣と申します。

専門学校を卒業してまだ間もなく、保育士としてまだ未熟なので皆さんには迷惑を掛けることがあると思ひますが、先輩保育士の方から多くのことを学び、子ども一人ひとりの成長をしっかりと援助できる保育士になりたいと思ひます。子どもたちと一緒に過ごす中で、私も共に成長していきたいです。よろしくお願ひします。

ゆりかご組 山口真奈美



4月からみどり園のゆりかご組担当になりました。山口真奈美と申します。

夢だった保育士になることができ、本当に嬉しく思ひます。初めてのことばかりで毎日が勉強ですが、一日一日を大切に頑張っていきたいです。子どもたちの成長を見ながら自分自身も成長していきたい、常に笑顔忘れず子どもたちと関わっていこうと思ひます。まだまだ未熟な部分もあると思ひますが、どうぞよろしくお願ひします。



保育所「鳥取みどり園」施設会計決算書

収 入 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
運営費収入	129,456,000	129,454,350	△ 1,650
補助金収入	15,280,000	15,463,693	183,693
委託事業費収入	7,413,000	7,413,000	0
寄付金収入	130,000	558,744	428,744
雑 収 入	250,000	550,300	300,300
利用料収入	450,000	252,910	△ 197,090
受取利息収入	10,000	7,252	△ 2,748
合 計	152,989,000	153,700,249	711,249

支 出 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	124,131,000	124,046,485	△ 84,515
事務費支出	7,094,000	7,354,191	260,191
事業費支出	16,300,000	16,697,947	397,947
固定資産取得支出	0	180,000	180,000
積立預金積立支出	0	5,000,000	5,000,000
合 計	147,525,000	153,278,623	5,753,623

収入支出差引残金の¥421,626-は次年度繰越

# 診療所 クリニックの発達クリニック



院長 川口 孝一

平成二十二年四月一日

より鳥取こども学園の公益事業として、社会福祉法人立の精神科クリニックが開設され、私川口が院長に就任いたしましたので、ご挨拶と当クリニックのご紹介をさせていただきます。

平成6年鳥取こども学園希望館が開設されてから、施設内診療所(特定診療所)ということで保険診療こそ出来ませんでした。このことで保険診療こそ出来ませんでした。その外来部門で受益者負担なしの診療行為は行ってきていました。しかし医師の武器の一つである薬物治療を保険診療が出来ないため行えず、以前常勤で勤めていた鳥取医療センター(旧国立療養所鳥取病院)の理解と協力を得て、医療センターでの外来診療を非常勤で継続することで、薬物療法の併用が必要な方は医療センターにカルテを作っていた。そこで処方するという形で対応してきました。希望館が所属する全国情緒障害児短期治療施設協議会でも保険診療が認められないかと厚生労働省に陳情活動等を行ってきましたが認められませんでした。そのため福祉法人立の保険診

療のできる診療所を併設するしかないということ、それが長い間法人(こども学園)の懸案事項の一つになっていました。

そのような診療所となると、児童思春期の子どもだけでなく精神科一般診療も加わるため、医師一人では希望館兼務での対応は困難と思われ、なかなか開設に踏み切れませんでした。この度鳥取医療センターで長く勤めておられた精神科医の池成孝昭氏が思いに賛同してください、こども学園に来てくださることとなり、開設への準備をスタートできました。その後開設に至る準備の段階では多くの方々の助けをいただきました。法人理事・評議員の方々、鳥取医療センター(旧国立療養所鳥取病院)名誉院長の福岡悦夫氏や鳥取県福祉相談センター所長の西井啓二氏には設立準備委員会メンバーとして尽力頂き、また、こちらは発達クリニックの濱副薫氏にはクリニックを見学させて頂きいろいろ貴重なご助言を頂きました。このように多くの方のお陰で四月一日より診療を開始でき、十七日には開所式を行うことが出来ました。開所式には多くの方々に参列して頂き、また祝電やお花を頂きました。この場を借りて全ての方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## クリニック開設にあたって

ところで「こころ」はどこにあるのでしょうか？

胸に？ それとも頭に？

私は、「私とあなたとの間、人と人との間、私や人と環境の間にある」のだと思っています。そんなこころの成長や傷つきからの回復に、あなたと一緒に取り組んでいけたら、と思います。「病理を見つけて治す」という医療モデルにとらわれず、鳥取こども学園の百年にわたる長い歴史から学んできた、福祉モデルの考え方や、実践(健康的な部分を見つけて育む、傷つきを包んで収める、過去や現在と折り合いをつける)を活かした、地域での精神保健、医療活動をしてゆきたいと思っています。よろしくお願いたします。

## 職員紹介



岡田 佳那子

昨年度は自立援助ホーム鳥取フレンドでお世話

になりました。

その中で、こころの傷や苦しさを抱える子どもさんにも出会い、共に生活する者として見守り手助けすることの難しさや葛藤を感じてきました。クリニックを

受診される方だけでなく、支援される方々の思いにも寄り添い、援助者のひとりになることができたかと思っております。



上田 照彦

四月一日より、診療所こころの発達クリニックで勤務しております。日々の業務に追われており、学園全体のことがよくわかっておりません。もう少し余裕がもてるようになりましたら、学園内の散策に出かけたいと思います。ぶっきらぼうな男ですが、その際には是非声を掛けてください。



池成 孝昭

四月一日より、こども学園希望館での仕事とともに、こころの発達クリニックで非常勤勤務をしております。まわりの元気なスタッフに助けていただきながら、今までの経験を生かして仕事をしたいと思っております。

	月	火	水	木	金	土
9:00						鳥取県立病院
12:00						
14:00				午後休診		鳥取県立病院
17:00						
18:00						
21:00						



子ども家庭センター  
「希望館」施設会計決算書

収 入 (単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
補助金収入	11,797,000	11,797,000	0
繰入金収入	140,000	160,274	20,274
合 計	11,937,000	11,957,274	20,274

支 出 (単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
人件費支出	9,334,000	9,283,599	△ 50,401
事務費支出	2,603,000	2,673,675	70,675
合 計	11,937,000	11,957,274	20,274

収入支出差引残金 ￥0

児童家庭支援センター  
子ども家庭センター「希望館」

この度診療所設立に伴い支援センターがのぞみ分校のある教育棟の一階へ引越しました。

ここでは過卒児を対象とした通所の部門があり、引越しを機にブロック体制をとりました。

また、今まで隣にいてブロック体制を組んでいた一時保護等に対応のすみれホームが別の棟になり、なかなか関わりがもてないという状況になりました。そこで、センター職員が夕食を食べに行き子どもと

積極的に関わるということを決めました。

このようにセンターの働きがまた新しくなります。支援センターはその地域のニーズにあった働きが出来る機関としてとても柔軟に動くことが出来ます。

どのような支援機関・団体が支援すべきかわかりにくい相談への働きかけや、なかなか真剣に向き合ってもらえない心への働きかけなど求められているのに足りない部分へのフォロー。これからも各機関と連携をとりつつ、みんなで考え見守ることを大切にしていこうということを目指し柔軟な心で試行錯誤しております。今後ともよろしく願います。

◆来所相談 平日 AM九時～PM六時 (祝・祭日を除く)

◆電話相談 二十四時間対応

(TEL) 〇八五七一一七(四一五三)

平日 AM九時～AM〇時

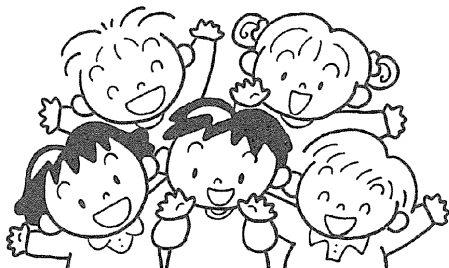
平日 AM〇時～AM九時

・土日の終日は緊急相談のみ対応

※電話相談対応時間が変わりました。

\*引越しました\*

子ども家庭支援センター「希望館」は昨年度一月に移転しました。場所は希望館の分校・教室のある教育棟の一階、玄関を入ってすぐのところに移りました。





# 自立援助ホーム 鳥取フレンド

寮長 山 中 友 子  
二〇一〇年五月

昨年の法改正に伴い、自立援助ホームは補助金事業から措置費による事業に移行し、毎月の人員数でその額が決まるという形に変わりました。又、入所定員により職員数も決まり、例えば六名以上九名未満の入所者の場合、補助職員を含め、四名の職員が必要となります。自立援助ホームという所は、ほとんどが少人数の集団であることや、入退所について見通しのたてにくい事などの理由で、予算をたてにくく、法改正後一年目の運営は困難でした。当ホームの場合は、社会福祉法人の傘下であること、その法人を支えて下さる方々があること、又、関係機関のご理解もあり、なんとか一年ホームを維持することができたと思っています。全国的にも、自立援助ホームはどんどん増えていて、まだない県もありますが、平成二十二年四月一日現在で、六十六ヶ所となりました。元々、子どもたちからのニーズを受けて立ち上がってきた自立援助ホームが、社会に認められ普及してきたことは喜ばしいと思います。ただ、私たちは制度にのり、運営することだけ

に迷走せず、前にいる子どもを大切に生活をするという基本を忘れずにいたと改めて感じています。

さて、平成二十二年度、鳥取フレンドは男子三名、女子二名（一時保護を含む）でスタートしました。雇用情勢の厳しさは変わりなく、正規雇用の者は、その内一名のみです。学校とアルバイトを両立させている者、「早く自立したい!」と掛け持ちでアルバイトをしている者、経験のない外仕事に就き、腰痛、ケガに悩みつづ働いている者など、それぞれが自分の目標を定めて、マイペースで生活をしています。一方、自分を見失い、それこそ迷走しているように見える者もいます。今も職員共々模索している状態で、本人にとってフレンドが良い意味で柵になればと思っているところです。

寮生たちは、ここに辿り着くまでにさまざまな事情により、自分でも気付かぬうちに、自分の感情に蓋をしてきた部分があるのではなにかと察します。ただ、働いて生活していかねければならないという状況だけは確かで、厳しい社会の中でどう



しても自分自身と向き合わなければならぬ時がある。根本的なところでの自分の存在意義、存在理由を、今の年齢で、今まで生きた自分を振り返って考えるのだらうと思います。彼らの背景を思つた『無理もないよなあ』と思うところがあり、でも、だからこそ、『なんとかここを乗り越えてほしい!』と思います。あまりに辛そうな姿を見ると、声をかけることもできず、心の中で願うだけのこともあります。『大丈夫、こんな時もあるけど、また歩き出せる!』と信じていた

いです。物や情報が溢れている今の社会で自立していくことは困難です。現実的な自活と精神的自立のバランスを保てるよう心がけていきます。今後とも関係機関の方々のご理解、ご指導をいただきたいと思

いますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 新任職員の自己紹介

橋 本 有 文



慣れないまま二ヶ月が過ぎましたが、四月からは、自分の弟や妹が一度に増えた様な感じで、賑やかな人生を送らせていただいています。子どもたちと苦楽をともにしていきたいと思

### 自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計決算書

収 入			
(単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	15,660,000	16,210,832	550,832
補助金収入	7,840,000	7,840,000	0
寄付金収入	2,543,000	2,597,990	54,990
利用料収入	760,000	765,000	5,000
雑 収 入	47,000	47,000	0
受取利息収入	1,000	796	Δ 204
合 計	26,851,000	27,461,618	610,618

支 出			
(単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	12,955,000	12,954,826	Δ 174
事務費支出	5,909,000	5,949,061	40,061
事業費支出	3,987,000	3,987,191	191
繰入金支出	1,575,000	1,575,000	0
固定資産取得支出	2,575,000	2,566,190	Δ 8,810
合 計	27,001,000	27,032,268	31,268

収入支出差引残金の¥429,350-は次年度繰越

## 自立援助ホーム 倉吉スマイル

専長 田村 崇

倉吉スマイルがスタートして今年で六年目を迎えました。あつという間に過ぎた六年だったというのが、正直な感想です。振り返ってみれば本当にいろいろなことがありました。楽しいことやうれしいことは勿論ですが、苦しかったことさえも思い出という経験になっているのだなと実感しています。

これまでに十三人の子どもたちが、スマイルでの生活を経て社会へ巣立っていかれました。この中の半数の子たちと今でも何らかの形で、連絡を取り合っています。それぞれが抱えている問題は違いますが、話を聞いてみると、新たな生活もなかなかスムーズにいったというものが現状です。スマイルを出たからといって、完璧に安心して暮らしているわけではなく、寧ろ、スマイルを出てから、彼ら彼女らの本当の戦いが始まっているという事だと思っています。社会へ出て、新たな経験をいっばいし、戸惑ったり悩んだりしていると思います。何事もなかったように電話やメールしてきたり、スマイルに遊びに来たりしていますが、本当はもっと今の辛さを知って欲しいんだな

と感じる事がよくあります。

現在スマイルでは、六人(全員男子)の子どもたちが生活しています。彼らもやがて社会へと巣立っていきます。我々スタッフは、子どもたちがどんな気持ちでここで生活し、どんな思いでここを巣立っていくか、そういうことに気づける事が大切だし、ここでならこの人になら、もっと自分の辛さをさらけ出していいんだという感じを自然に持つてもらえるような関わりを日頃から心がけていかなければいけないんだなと思っています。

これまで私は、自分が何とかしなければという勝手な使命感を持って日々の生活を送っていたような気がします。しかしそれはとても危険なことであることに

気がつきました。

なによりも私の周りには、とても素敵で個性を持ったスタッフや子どもたちがいます。みんなに支えられて私の存在が生かされています。同様に私もその輪の中に入り、みんなの「笑顔」を引き出していくことができる、そんな存在でありたいなと決意しています。

昨年度の法改正から特に運営面では、皆様に大変ご心配をおかけしてしまい、申し訳ございませんでした。一日も早く安定した運営にも心がけていきますので、今後ともご支援いただきますようよろしくお願い致します。

倉吉スマイルスタッフ一同、今年も多くの「スマイル」を育てていきます。

### 自立援助ホーム 「倉吉スマイル」施設会計決算書

収入 (単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	7,423,000	8,210,223	787,223
補助金収入	10,355,000	9,267,000	△ 1,088,000
寄付金収入	200,000	300,000	100,000
利用料収入	1,170,000	1,180,000	10,000
雑収入	47,000	47,000	0
受取利息収入	1,000	831	△ 169
繰入金収入	4,800,000	4,800,000	0
合計	23,996,000	23,805,054	△ 190,946

支出 (単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	11,736,000	11,686,240	△ 49,760
事務費支出	1,476,000	1,476,209	209
事業費支出	10,149,000	9,801,410	△ 347,590
固定資産取得支出	284,000	284,331	331
合計	23,645,000	23,248,190	△ 396,810

収入支出差引残金の¥556,864-は次年度繰越

## 地域若者サポートステーション事業 とっとり若者 サポートステーション

鳥取県でも学園が厚生労働省と鳥取県から委託を受け、三年目となる今年度から新たにアウトリーチ事業が加わりました。

近年、雇用情勢の悪化にともない、若年層の就業状況が厳しく、無業状態にある若者が相当数にのぼっています。こういう状況の中、二一年度の来所者が約千五百人、相談件数は、千二百五十件余りありました。

サポートは、「人と接するのが苦手」「働きたくてもなにをしていいかわからない」・「仕事はしたことはあるが、長続きしない」など、就労支援を求めている若者の社会的、職業的自立に向けた支援を行う場所です。

今年度も、地域の各若年者支援機関との連携を深めて、個々の若年者に応じた支援が継続的に受けられるような運営をめざしていきます。

心理カウンセラー  
引野 加奈子



一月からとっとり若者サポートステーションでお世話になっています引野加奈子です。来所される方々が自身の

人生を生きやすいと思えるようになるためにどのようなお手伝いができるのか、この仕事をライフワークにする上で永遠の課題になるような気がしています。来所される方々とともに歩み、成長していきたいです。

キャリアカウンセラー

榎 啓 介



四月からとっとり若者サポートステーションでお世話になってます。

まだまだわからないことが多く、皆さんにはご迷惑をおかけしていますが、自分に求められていることと自分にできることを調和させることができれば幸いかなと思いつつ、柳のようにしなやかに揺れようと思っています。

### 退所児童等アフターケア事業

## ひだまり

ひだまりの開所から一年半が経過し、三年度目を迎えました。懐かしい出会い、新たな出会いを重ね、昨年度は九十名以上のOB・OGの方とお会いすることができました。

新年度を迎え、活動の見直しを行い、新しく展開しています。その一つとして、若者サポートステーションの山中キャリア

アカウンセラーが週一日ひだまりにて相談受付を行うことになりました。プロによる仕事の相談・キャリアアカウンセリングを、土曜日に受けることができます。また、ひだまりの集まりから生まれたOB・OGのグループ「レインボーズ」が結成されました。代表は池田征人さん、副代表は太田垣茂さんと徳田晴江さんです。今後ひだまりと協力し、施設訪問や行事の運営、児童や他団体との交流などの活動を行うべく予定です。ひだまりが事務局となり、会合の場所を提供します。最初の活動として、学園こともまつりに模擬店「職人が打つ手打ちそば」「プロがつくるミニパフェ」を出店しました。

現在、全国の児童養護施設出身者のグループ活動が盛んになっており、先日「社会的養護の当事者グループ全国ネットワーク『ごもつと』」が結成されました。東京・千葉・栃木・名古屋・大阪・鳥取の団体が参加しています。この集まりにもレインボーズメンバーが中心に出席していきます。

ひだまりの活動の様子や、行事予定をお知りになりたい方は、ホームページ(<http://hidamar-i2008.nai.n.jp/>)を開設しましたので、ぜひ一度覗いてみてください。今はまだ連絡掲示板としてのプ

ログのみですが、コンテンツ(掲示板内容)を増やしていく予定です。今後より一層の活動の充実を目指し努力していきます。ご支援よろしくお願

いします。



地域生活支援事業「ひだまり」開所一周年のつどい

### 当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、  
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、  
下記のとおりです。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

#### 寄 付 者 (2009. 11～2010. 5)

氏 名				氏 名				氏 名				氏 名			
柴田和	田直	仁樹	子明	純光	子明	松原菜津	子会	平野辰郎	和	江	江	江	江		
柴田直	田直	樹	福田	光明	子明	鳥取友の	代会	霜田さつ	つ	稔	稔	稔	稔		
橋千石	崎真知	詰子	下村石	洋	子明	土田村	崇園	矢(株)テクノ	ノ	業	業	業	業		
秋崎	真る	子	山根	章	子明	(株)久松伊吹	植物	竹中成	成	代	代	代	代		
山中	友	子	林	澄	子	池内泉	子智	三北中	中	朗	朗	朗	朗		
茶道真千家淡友会鳥取支部 支部長 中尾喬一			やまこう建設株式会社代表取締役 社長 田中義			戸村	誠	相見	見	子	子	子	子		
須崎俊	前靖	孝子	藤原	京	自	竹下	努	杉加	加	博	博	博	博		
大前本	藤室	明子	岩田	雅	夫	中鳥取工業	廣太	奥	奥	義	義	義	義		
近北高	室橋	育伊	タニグチヘアサロン	美	代	葉盛	松山	株式会社鳥住	代表取締役 吉田	勇	勇	勇	勇		
3船谷	H井尾	の武	ま	な	亭	新森	津	尾林	林	二	二	二	二		
(有)造園土木植清園	大塚	道	山根	英	明	伊吹	啓	澤清	清	守	守	守	守		
中前川	田正	豊	船山	功	子	柴田	正	河延	延	弘	弘	弘	弘		
国際ソロブチミスト鳥取	昌治	二	沖柴	千	恵	田中工	業	三木	木	康	康	康	康		
岡福窓	島園	上方	田岡	尚	逸	福塩	眞	(株)ヤマ	マ	機	機	機	機		
山勝原俊恵	ホット	と	鳥取	み	ど	宮田	政	清井	井	生	生	生	生		
松(株)山岡	村た本	栄	山下	弘	智	田井	儀	吉大	大	一	一	一	一		
岡植	田漁	具	山本	文	子	難湯	幸	(株)水谷	谷	の	の	の	の		
藤福卷	井嶋	喜裕	白前	道	子	植	正	木浜	浜	十	十	十	十		
川鳥取	端白	勇	伊達	季	代	古古	操	小川	川	知	知	知	知		
吉谷	本山	房	森	直	義	朝倉	香	石由	由	省	省	省	省		
横谷	田詰	万	伊	周	一	奥山	芳	難山	山	知	知	知	知		
政吉	田由	美	鳥取	シ	オ	山宮	義	鳥取県社会福祉協議会	有志	内	内	内	内		
生(株)広電	宮島	ガ	西日本高速道路サービスホールディングス	葉	正	鈴藤	和	谷池	池	之	之	之	之		
清森	水田	昭	川	葉	正	藤竹	興	齋田	田	江	江	江	江		
本松	本村	友	奥	東	一	(株)エフエムエル	洋	久尾	尾	幸	幸	幸	幸		
北西	尾内	琉	伊	井	人	中井	晋	宮加	加	子	子	子	子		
堀松	永岡	隆	鳥取	安田法律事務所 弁護士 安田	昭	金田	和	中吉	吉	德	德	德	德		
松(株)ダイヤモンド電機	京	電	草西	野	公	尾中	美	中石	石	敏	敏	敏	敏		
			小(株)イナ	橋	房	中石	裕	吉光	光	清	清	清	清		
			安	達	裕	(株)千代	子	宮川	川	子	子	子	子		
										樹	樹	樹	樹		

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
中 村 敏 江	寺 坂 光 博	宮 都 宮 靖	小 原 隆 三
井 手 添 敦	鳥取少年鑑別所 有志一同	池 田 博 子	田 中 眞 由 美
谷 垣 由 紀 恵	村 上 潤 ・ 康 子	亀 本 良 一	砂 川 晋 治 ・ 眞 理
幾 野 裕 昭	菊 池 ト シ	田 中 敏 明	無 名 氏
村 上 収 一	鳥取市立湖南保育園	石 渡 禎 一	(株)コタニ 代表取締役 小谷憲司
梅 澤 潤 一	小 竹 原 寛 子	母 子 生 活 支 援 施 設 の ぞ み 有 志 一 同	鳥取市福祉保健部 職員有志一同
鳥取第一幼稚園 川下泉	浅 田 悦 子	吉 田 由 喜 江	石 田 雅 栄 子
鳥取ライオンズクラブ 会長 山名立洋	鳥取第一幼稚園 西垣恭子	鳥取第一幼稚園 職員一同	広 谷 笑 子
サンライズ工業(株) 代表取締役 吉川修生	郡 孝 幸	森 下 耀 雄	医 療 法 人 社 団 米 本 内 科
愛 真 幼 稚 園	林 義 雄	渡 辺 隆 夫	牧 岡 春 雄
鳥 取 信 用 金 庫	奥 田 愛 子	西 尾 和 江	鳥 取 南 更 生 保 護 女 性 会
正 林 督 章	田 村 愛 子	福 嶋 藏 一	鳥 取 市 立 豊 実 保 育 園 福 田 文 子
鳥取市立豊実保育園 大谷秀美	鳥取市役所 鳥取市職員 有志一同	池 上 聡 一	金 田 隆 臣
丸 谷 菊 枝	鳥取市立豊実保育園 福永真弓	鳥取市立豊実保育園 田中由美子	医 療 法 人 き む ら 耳 鼻 咽 科 医 院
東 中 学 校 国 富 一 郎	若 林 健 美	貞 光 由 紀 江	奥 野 隆 一
岸 本 純 子	東 中 学 校 山 本 博 美	鳥取市立東中学校 東中職員一同	久 野 紀 子
伍 々 興 治	用 瀬 教 会	日 本 基 督 教 団 鳥 取 教 会	福 田 源 次 郎
山 上 英 明	豊 福 孝 明	田 村 明 長	鳥 取 鶏 卵 販 売 ( 株 ) 代 表 取 締 役 小 野 寺 祐
株 式 会 社 三 栄	鳥 取 医 療 器 ( 株 )	岸 本 正 枝	( 株 ) さ ん れ い フ ー ズ 大 谷 和 雄
丸 山 順 子	武 田 功 實	日 本 キ リ ス ト 米 子 教 会	( 有 ) ジ ャ パ ン 観 光
プリチア生計(株)タイリビューション西日本(株)	齋 藤 光 会	宮 崎 進 子	矢 久 間 一 子
山 口 公 一	浩 の 春 代	サ ン ヨ ー グ ル ー プ	名 村 康 恵
上 杉 洋 子	齋 藤 基 ・ 有 代	谷 口 尚 子	鳥 取 市 立 城 北 小 学 校 P T A 会 長 吉 澤 春 樹
望 月 彰 一	宮 崎 有 正	鳥 取 教 会 睦 会	修 立 小 学 校 職 員 一 同
川 口 孝 一	梅 里 伸 子	沢 眞 由 美	川 口 明 子
天 徳 寺	山 本 伸 子	鳥 取 教 会 愛 の 泉	谷 口 繁
株 式 会 社 太 田 商 店	井 坂 靖 令	岸 田 彬 靖	小 谷 怜 子
二 村 繁 美	束 原 克 美	佐 田 太 郎	中 村 匡 子
中 川 康 恵	蔵 本 美 知	山 々 木 寿 江	平 野 正 子
水 本 ク リ ッ ク	藤 岡 窓 栄	大 西 博 子	弁 護 士 法 人 河 本 ・ 森 法 律 事 務 所 河 本 充 弘
柴 田 隆 嗣	ス リ ー パ ー	鳥 取 西 口 博 子	弁 護 士 法 人 河 本 ・ 森 法 律 事 務 所 森 祥 平
弁 護 士 森 田 富 人 法 律 事 務 所 森 田 富 人	岩 美 オ カ リ ー ナ ・ ク ラ ブ 岸 本 み ゆ う	鳥 取 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ	く ら よ し 佐 野 法 律 事 務 所 佐 野 泰 弘
リーガルアライアンス鳥取あおぞら法律事務所 勝藤 剛	弁 護 士 松 本 光 寿 法 律 事 務 所 松 本 光 寿	つ く し 野 法 律 事 務 所 寺 垣 琢 生	川 中 ・ 足 立 ・ 野 口 法 律 事 務 所 川 中 修 平
リーガルアライアンス倉吉あかり法律事務所 辻本 周平	弁 護 士 法 人 や わ ら ぎ	菜 の 花 総 合 法 律 事 務 所 駒 井 重 忠	リーガルアライアンス好アリア法律事務所 松野 生
山内功法律事務所 山内 功	リーガルアライアンス鳥取あおぞら法律事務所 瀬古 昭	リーガルアライアンス鳥取あおぞら法律事務所 豊福 一	田 口 優 美 子
リーガルアライアンス米子アリア法律事務所 柳 法	法 テ ラ ス 倉 吉 法 律 事 務 所 北 館 篤 弘	直 野 喜 光 法 律 事 務 所 直 野 喜 光	金 田 和 子
大 塚 淑 子	太 田 法 律 事 務 所 太 田 正 志	西 村 法 律 事 務 所 西 村 正 男	カ ウ ン セ リ ン グ ル ー ム た い よ う
アイリオ生命保険株式会社 代表取締役 米田 光生	唐 池 学 園 職 員 有 志	信 原 修	鳥 取 県 教 職 員 組 合 会 計 委 員
坂 根 千 里	鳥 取 県 企 画 部 青 少 年 文 教 課 有 志	福 永 裕 子	前 嶋 佐 保
鳥 取 県 教 育 研 究 集 会 運 営 委 員 長	鳥 取 県 労 福 協 東 部 支 部	山 根 や よ い	海 藤 ひ ろ み
赤 嶋 修 雄	横 浜 雄 介	盛 田 和 子	鳥 取 保 護 司 会 第 二 分 区
船 曳 八 寿 子	鳥 取 県 労 働 者 福 祉 協 議 会 中 部 支 部	山 根 浩 子	立 川 町 5 丁 目 2 区 町 内 会
( 株 ) パ ン ド ラ の 箱 代 表 取 締 役 前 田 政 友	鳥 葬 ま ご こ ろ 庵	松 田 悦 子	鳥 取 生 協 病 院 院 長 竹 内 勤
上 田 病 院 塩 崎 か お る	田 中 嘉 鶴 子	松 岡 菊 枝	米 子 聖 園 天 使 園
鳥 取 生 協 病 院 田 治 米 佳 世	鳥 取 生 協 病 院 森 田 之 章	鳥 取 生 協 病 院 金 田 靖 典	井 上 恭 一
因 伯 子 供 学 園	水 川 ク リ ニ ッ ク 水 川 六 郎	さ と に 田 園 ク リ ニ ッ ク 院 長 大 田 匡 彦	入 江 一 枝
石 井 義 男	児 童 心 理 療 育 セ ン タ ー み ら い 施 設 長 進 藤 英 一	米 子 聖 園 ベ ビ ー ホ ー ム	古 莊 信 子
久 野 タ キ 工	青 谷 こ ど も 学 園	光 徳 子 供 学 園	チャリティ・日本の心臓病治療院実行委員会
中 嶋 隆 子	大 橋 元 一	西 尾 美 智 子	米 子 信 愛 鍼 治 療 院 松 本 剛 典
社 会 福 祉 法 人 南 河 学 園	( 有 ) 谷 口 裕 一	山 田 敏 明	大 井 工 務 店
建 部 恵 子	中 尾 文 賢 一	奥 村 位 子	田 山 喜 久 雄
市 川 元 子	守 口 賢 一 郎	口 一 マ 鳥 取	浅 井 富 美 子
河 田 瑛 子	富 士 一 郎	手 皮 小 四 郎	星 加 忠 孝
藤 井 重 明	岸 律 一 昭	酒 巻 佐 代 子	三 宅 浩 子
( 株 ) 懸 樋 工 務 店 代 表 取 締 役 懸 樋 義 樹	山 根 一 昭	浅 井 慶 紀	西 尾 琉 璃 子
吉 田 健 一 郎	山 白 史 子	山 本 大 順	高 橋 昌 文
井 上 仁 ・ 恭 子	草 野 雅 昭	増 田 千 尋	( 株 ) 赤 山 建 築 設 計 事 務 所 代 表 取 締 役 赤 山 善 男
池 田 晴 隆 子	小 谷 谷 雅 護	小 林 実 美	山 本 恵 子
高 山 愛 子	夕 ヶ ウ チ ア リ	鳥 取 福 祉 会 職 員 有 志	鳥 取 県 教 職 員 組 合 東 部 支 部
( 株 ) お さ き 住 環 境 設 備	岡 田 武 才	濱 本 英 機	伊 藤 順 雄
		日 本 基 督 教 団 鳥 取 新 生 教 会	

物品寄付者 (2009.11~2010.5)

氏名	氏名	氏名	氏名
坂本 亨	山本 正	U F O 秋里 店	桑本 茂雄
全国シャンメリー協同組合	山谷 明	山下 孝子	財団法人鳥取市学校給食会
池田 実	U F O 扇町 店	明治安田生命労働組合	日本鏡餅組合
上田 弘	浅井 慶紀	田中 温子	林 皮 小四郎
ひつじの会 中	くら もと	(株)竹中工務店 鳥取営業所	(有)香風 堂
黒川 和子	福祉を守るみどりの会	鳥取敬愛高等学校 家庭科クラブ	鳥取更生保護女性会 会長 山根志津
みどりの会 高野晃一	修立小職員一同	立5・2区町内会	鳥取市高町総合支所地域振興課 主査 田中悦子
鳥取県中小企業団体中央会 専務理事 有田勝徳	コーナーアクト	上田包装企業(株) 鳥取支店	柏木 潤一
山陰中央新報	三好 俊夫	(株) マルカツ	市 谷 年弘
岩瀬 明	光琳グループ 猪口吉野	フィリップモリスジャパン	財団法人資生堂社会福祉事業財団
安木 周	バンドラの箱	U F O 安長 店	池田 博子
玉川 海	(株)グロウ 松本賢広	コルク 福原幸治	居酒屋玄 松本賢広
ビュ	焼肉はるみ 小西利雄	サポーター	鳥取市高町総合支所地域振興課 主査 田中悦子
田中 純	沢村 秀一・まり	中尾 信子	吉村 辰彦
南加藤 芳光	稲町長 石谷雅文	鳥取教会シオン会	藤原 拓
江谷 孝寛	副 田 典久	7'S GATE 興南店	資生堂社会福祉事業財団 担当 吉田康則
山岡 寛	谷 口 ジョイス	コンピ株式会社	建部 憲子
NPO法人 えんば 福田誠治	大鳥会 理事長 松本賢広	資生堂社会福祉事業財団 吉井 氏	入江 一 枝寺に
梨原 剛	江崎グリコ株式会社 米子営業所 所長 村上弘通	無名氏	大ば に
		鳥取いなばライオネスクラブ	

平成21年度 鳥取子ども学園後援会収支決算書

自 平成21年4月1日  
至 平成22年3月31日

(収入)

科目	当年度	前年度	比較増減(△)額	摘要
後援会費	512,000	534,063	22,063	57件(前年度90件)
貸付金返済	75,000	0	75,000	ひだまりより
雑収入	643	7,022	6,379	預金利息
前期繰越金	2,128,509	5,693,734	3,565,225	20年度より
合計	2,716,152	6,234,819	3,518,667	

(支出)

科目	当年度	前年度	比較増減(△)額	摘要
本部会計へ寄付	1,000,000	4,000,000	3,000,000	
手数料	56,690	42,110	14,580	郵便局振込手数料
部活支援	12,000	24,200	12,200	遠征旅費
貸付金	720,000	0	720,000	ひだまりへ
雑費	30,000	40,000	10,000	成人祝(着物借用、記念写真代)
合計	1,818,690	4,106,310	2,287,620	

収入支出差引残金 ¥897,462- は次年度へ繰越

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取子ども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取子ども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込口座名義：社会福祉法人鳥取子ども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お願い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発刊しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考へてのことですので、ご理解いただきますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。